

## 平成31年度・令和元年度 シラバス (国語)

教科(科目)	国語(国語総合)	単位数	5単位	学年(コース)	1学年
使用教科書	『新 高等学校 国語総合』(明治書院)				
副教材等	「新 高等学校 国語総合 学習課題ノート」(明治書院) 「常用漢字ダブルクリア 三訂版」(尚文出版) 「解析古典文法 三訂版」(桐原書店) 「漢文基本ノートβ」(浜島書店) 「ニューエイジ現代文 基礎1」(第一学習社)				

## 1 学習目標

- ・文章を読み取る力を養うとともに、自ら思考しそれを的確に表現する能力を育てる。
- ・古典の鑑賞を通して日本文化への理解を深め、豊かな人間性を育む。

## 2 指導の重点

- ・表現の特色を理解し、それぞれの文章で筆者の主張や心情等を的確に読み取る力を身につけさせる。
- ・原則として毎週漢字テストを実施し、漢字力を増強するとともに語彙を豊かにさせる。
- ・言葉のきまりなど言葉に関する知識の定着を目指す。特に古典文法や漢文の訓読法について習熟させる。
- ・自らの考えや思いを適切に表現する力を身につけさせる。

## 3 指導計画

月	単元名	教材	主要学習領域	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	随想	「どうすれば虹の根もとに行けるか」	読むこと	文章読解の基礎的な力を養いものの見方を深めます。	5	授業の取り組み 課題提出
	古文入門	「児のそら寝」他	読むこと	古語と現代語の違いを確認し古典世界の豊かさに触れます。	8	
5		古文を読むために1～3(前半)	文語のきまり	動詞の活用を理解します。	9	1学期中間考査
6	小説(1)	「羅生門」	読むこと 書くこと	短編小説の読み取りを通して小説の面白さを味わいます。 小説を朗読し、効果的な読み方を考えます。	10	授業の取り組み 課題提出
		朗読	表現		3	
7	漢文入門	「なぜ漢文を学ぶのか」 「漢文入門」 「故事」	訓読のきまり	返り点のきまりや再読文字、置き字、書き下し文の書き方等漢文学習の基本を理解します。	8	1学期期末考査
7	徒然草	「つれづれなるままに」「ある人、弓射ることを習ふに」	読むこと 書くこと	優れた随筆文学に触れ、作者のものの考え方や価値観を理解します。	9	授業の取り組み 課題提出
		古文を読むために3(後半)・4(前半)	文語のきまり	形容詞・形容動詞・助動詞の活用について理解します。	8	
8 9	評論(1)	「水の東西」	読むこと 話すこと	論理の流れをたどり、筆者の主張を読み取ります。	8	
	十八史略	「鶏口牛後」他	読むこと	現在使われている故事成語の意味と本来の意味を確認し、句法について理解します。	11	2学期中間考査
10	評論(3)	「働くことの意味」	読むこと	さまざまな語彙を理解し、評	10	

1 1	伊勢物語	「東下り」 古文を読むために4 (後半)・6	読むこと 話すこと 文語のきまり	論特有の表現を学びます。  歌物語の読み取りを通して、 和歌の修辞法を理解します。 助動詞の意味や活用、和歌の 修辞法について理解します。	1 1 1 0	授業の取り組み 課題提出  2学期期末考査
	唐詩	「春暁」「春望」他		唐詩を読み、近体詩の基本事 項を理解し、読み味わいます。	1 0	
	1 2	平家物語	「能登殿最期」  古文を読むために 5・7音便・敬語	読むこと  文語のきまり	軍記物語に触れ、表現の特色 と当時のものの考え方や価値観 について理解します。 敬語の種類や音便について理 解します。	
2	小説(3)	「清兵衛と瓢箪」	読むこと 聞くこと 書くこと	現代小説の読み取りを通して 登場人物の心情を理解します。	1 5	学年末考査
	論語	論語  古文を読むために 5つづき	読むこと 書くこと  文語のきまり	孔子の表現を通して、もの 考え方を深めます。  助動詞〈願望〉〈比況〉・音便 まで、助動詞の総まとめをし ます。	1 0 5	

#### 4 課題・提出物等

※合計 1 7 5 時間 ( 5 5 分)

- ・毎週 1 回漢字テストを行います。範囲は「常用漢字ダブルクリア 三訂版」(尚文出版) 2 ページ相当です。
- ・古文の学習の中で随時「解析古典文法 三訂版」(桐原書店) を用いて、文法知識を習得します。
- ・週末や長期休業中の課題として「ニューエイジ現代文 基礎 1 』(第一学習社) を用いて、文章を論理的に考えて読み取る力を身につけます。

#### 5 評価規準と評価方法

評価は次の 5 観点から行います。

(①関心・意欲・態度)	(②思考・判断)		(③技能・表現)	(④知識・理解)
関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
・国語や言語文化への関心を深め、進んで理解表現し伝え合おうとしている。 ・教材に意欲的に取り組んでいる。	・自分の考えをまとめたり深めたりして目的や場面に応じて筋道を立てて話したり他人の話すことを的確に聞き取ったりすることができる。	・自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や場面に応じて筋道を立てて適切に文章を書くことができる。	・自分の考えを深めたり発展させたりしながら、目的に応じて様々な文章を的確に読み取ることができる。 ・読書に積極的に取り組んでいる。	・表現と理解に役立つための音声、文法、表記、語句、語彙、漢字等を理解し、知識を身につけている。

以上の観点をふまえ、

- ・授業への取り組み (授業態度、発表の様子、学習活動への参加状況など)
  - ・課題への取り組み、ノート等の提出
  - ・漢字テスト
  - ・定期考査
- などから総合的に評価します。

#### 6 担当者から

高校 1 年生として、高校と中学校の国語学習の違いを認識し、国語のおもしろさを味わうとともに現代文の読解法、古典の基礎知識を習得します。また、自分の考えを的確に他人に伝えることができるように努力しましょう。